

被災者の声

- 私が今、一番心配していることは、これから先どうなるかということです。現在の生活の拠はすべて仮設（住宅、病院、学校など）です。仮設住宅から脱出しないと安心できないのです。
陸前高田市米崎町／漁業 佐藤 一 男（46歳）
- 震災前とまったく同じ街並みを望むのは無理かもしれませんが、しかし形はどうあれ、かつてのような隣近所の店々が楽しく語り合いができる商店街の復興を待ち望んでおります。
大槌町／コンビニ経営 谷沢 たえ子（64歳）
- 市街地のがれきも撤去され、一見きれいに見えますが、所々に見える建物の土台だけは早急に撤去してほしい。あの光景を目にするとあの日を思い出し、心が痛むのです。
宮古市館合町／自由業 窪田 敏 男（71歳）
- 大船渡市の場合、ハードな面での復興はほとんどこれからという状況です。声を大にして言いたいことは「行政のスピーディーな対応」です。特に国、県の熱意に期待しています。
大船渡市大船渡町／会社役員 鈴木 英 彦（71歳）
- 今、率直に思うことは狭い仮設住宅から一般住宅への素早い移行です。土地の確保が難しいため遅れているといわれるが、土地は国が責任をもってやることです。第一は住宅です。
気仙沼市／団体職員 村上 裕 一（36歳）

義援金のお願い

国際ロータリー第2520地区
復興支援特別委員会

2011.3.11の東日本大震災は、先祖代々にわたり、住み慣れた我が町、我が村に想像を絶する傷跡を残しました。私ども第2520地区の多くの被災者は未だ苦しみの中にあります。

ロータリーの使命は助けを必要としている人たちに手から手を差しのべ、心から心へと絆の輪を広げ、夢を形にする支援です。

全国のロータリアンにお願いします。第2520地区の被災地には、まだまだ皆さまの温かいご支援を求める被災者がたくさんおります。今まで以上のご協力をよろしくお願いいたします。

国際ロータリー第2520地区 復興支援プロジェクト

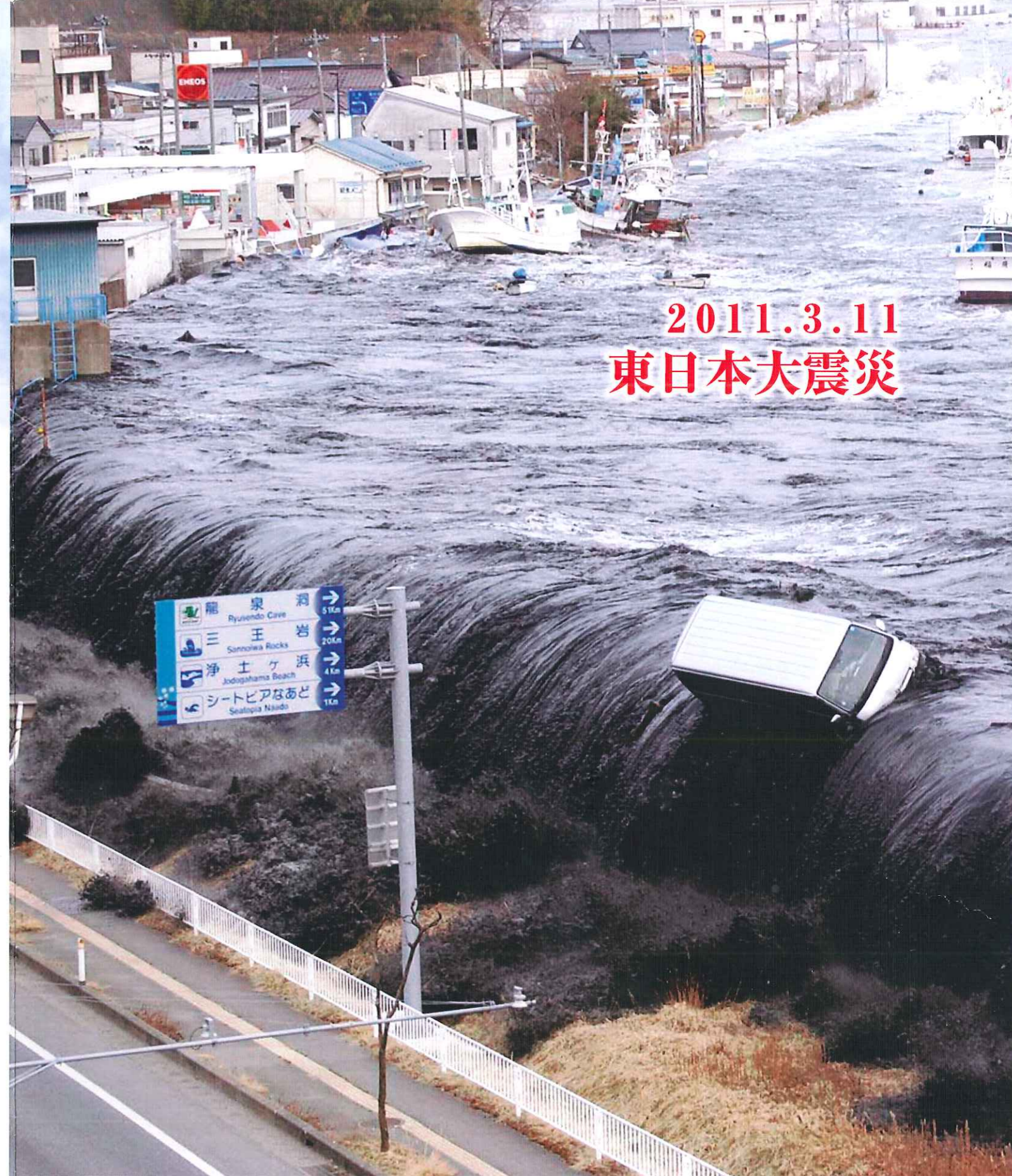
現在、第2520地区では下記の事業を推進中です。このプロジェクトの実施に伴い、地区復興支援特別委員会は国内外のクラブを対象に広く募金協力をお願いしております。

- 陸前高田第一中学校テニスクラブのコート、部室設置支援
- 甲子園で少年野球を ●鎮魂愛の鐘設置 ●東日本大震災犠牲者鎮魂碑建立
- 「津波に負けない建物への夢」応募プロジェクト
- 未来の森（海岸松林）再生サポーター
- 宮古市街地と観光地を結ぶマイクロバス1台購入

義援金の振込先

義援金口座：東北銀行 盛岡駅前支店

【普通】3151110 【口座名】2520復興支援特別委員会 代表幹事 新毛 國信



2011.3.11
東日本大震災

「防波堤を越えた真っ黒い波が市街地を襲う」宮古市新川町（岩手日報社提供）

第2520地区
復興支援
プロジェクト

2012-2013年度 第2520地区スローガン

信頼と絆で復興を
全力であげよう





「7万本の名称“松並木”も波にさらわれ、1本だけが奇跡的に残った」陸前高田市（岩手日報社提供）

忘れないでほしい!!

第2520地区
復興支援
プロジェクト



「無残な姿で寸断された三陸鉄道北リアス線」田野畑村鳥越地区（岩手日報社提供）



「漁港を襲う大津波」洋野町（岩手日報社提供）



「集落が壊滅し、民宿の上に打ち上げられた観光船」大槌町赤浜（岩手日報社提供）



国際ロータリー第2520地区
ガバナー
小野寺 則雄

あの悪夢のような東日本大震災の発生から早くも1年8カ月がたち、被災地三陸沿岸（岩手、宮城）の人々は今、二度目の寒い冬を迎えようとしております。

想像を絶する大津波の爪痕はあまりにも大きく、公営住宅の建設をはじめ、本格的な復興への動きはすべてこれからという状態です。

被災地の今を一言で申せば、「復興への槌音が極めて鈍いにも拘わらず、風化だけが日一日と進行する」というのが現実の姿です。こうした被災環境のなかで今なお多くの被災者が狭苦しい仮設住宅で不便な生活を余儀なくされております。遣る瀬無い悲しみと厳しい生活を抱えながらも7万人を超える三陸沿岸の被災者が「明日への復興」に望みを託し、懸命に生き抜いております。

私が取ってここで申すまでもなくロータリーの理念は奉仕です。

皆様の心のこもったご支援、ご協力をいま一度賜りたくよろしくお願い申し上げます。

復興には、まだまだ遠い



「打ち壊された町並み」大船渡市大船渡町（岩手日報社提供）



「がれきの中を救助活動する消防団員」釜石市鶴住居町（岩手日報社提供）



「崩壊した防波堤の塊が散乱し、水門だけがわずかに残る」宮古市田老町（岩手日報社提供）



「大津波で流された国道45号の歌津大橋」宮城・南三陸町歌津（河北新報社提供）



「津波に押し流された家屋などで県道が完全にストップした」気仙沼市松崎馬場地区（河北新報社提供）



「家々が根こそぎ流失した」宮城県亶理町の荒浜地区（河北新報社提供）

勇気と力を貸してほしい!!